

大学生と農山漁村との連携事例



兵庫県立大学

実施主体名：あまクイーンいちごプロジェクト

担当窓口

兵庫県立大学 国際商経学部 社会科学部
グローバルビジネスコース

URL

<https://www.u-hyogo.ac.jp/news/pressrelease/20240805press.html>



活動内容

学生がフードロス削減の観点から、兵庫県オリジナル品種である「あまクイーン」いちごの規格外品を活用し、新しい商品の開発や商品PRの提案を行い商品化するプロジェクト。「あまクイーン」の特徴や規格外品の現状に対する理解を深めるため、いちご生産者である農業法人（西脇市）への現場訪問や市場調査などのフィールドワークを重ね、企業等と連携しながら商品化し、カフェでの販売につなげた。



きっかけ

兵庫県では、SDGsに配慮した商品の開発・販売を目指す「百貨店・商社・小売店等と連携した流通促進事業」に取り組み、県産農林水産物の規格外品を活用した商品開発を推進していたことから、地域商社を通じて生産者や企業を紹介していただいたことが取組みのきっかけとなった。



展望

多国籍の学生が地域の農産物に対する知識を習得し、多様な視点から生み出されるアイデアを活かして、農産物の新しい使用方法や製品提案へとつなげるとともに、今後も農産物規格外品の新たな商品企画やPRなどの提案を通じてフードロス削減に貢献したい。また、留学生の力も借りて、海外輸出を視野に入れたマーケティング調査なども行いたい。



いちご園 訪問



商品PRの発表会



商品等（左）ポップ、（右）写真スポット、サイダー